

# 日本センチュリー交響楽団 定期演奏会

Subscription Concert Japan Century Symphony Orchestra  
第270回

Subscription Concert Japan Century Symphony Orchestra  
第271回



九州交響楽団との合同演奏、壮大なスケール、圧巻の迫力！  
いざ、久石マエストロの真骨頂、弾ける「リズムの祭典」へ！

指揮：久石 譲  
Joe Hisaishi / Conductor  
© syamamoto

合同演奏：九州交響楽団  
The Kyushu Symphony Orchestra / Joint performance

© Masaharu Eguchi

2023  
2/17 (金) 19:00 開演 (18:00 開場)  
ザ・シンフォニーホール

久石 譲：Metaphysica (交響曲 第3番)  
J. Hisaishi: Metaphysica (Symphony No.3)  
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」  
I. Stravinsky: Ballet "The Rite of Spring"  
マルケス：Danzón 第2番  
A. Márquez: Danzón No. 2

一般発売日 2022年10月17日(月)



対象公演



指揮：川瀬 賢太郎  
Kentaro Kawase / Conductor  
© Yoshinori Kurosawa

ヴァイオリン：ティモシー・チュイー  
Timothy Choo / Violin  
© DenSweeney

川瀬賢太郎が描くオーソトリアからアメリカへ  
全盛期のワルツとその敗退、歌うヴァイオリンとともに

2023  
3/9 (木) 19:00 開演 (18:00 開場)  
ザ・シンフォニーホール

J. シュトラウスII：皇帝円舞曲 作品437  
J. Strauss II: Kaiser-Walzer, Op. 437  
コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35  
E. W. Korngold: Concerto for Violin and Orchestra in D major, Op. 35  
アイネム：フィラデルフィア交響曲 作品28  
G. v. Einem: Philadelphia Symphony, Op. 28  
ラヴェル：ラ・ヴァルス  
M. Ravel: La valse

一般発売日 2022年10月17日(月)



対象公演

ご予約・お問合せ センチュリー・チケットサービス TEL. 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)



スペシャルスポンサー 地主株式会社 旭酒造株式会社  
JINUSHI Co., Ltd. GAMBIA OSAKA  
フレンドシップパートナー  
主催：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 <https://www.century-orchestra.jp/>  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）  
文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会  
●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

オフィシャルスポンサー MK MKGILBERT 株式会社エムズ住建設 ONKYO kaneka 共栄法律事務所 KINCHO Corniche THE SYMPHONY HALL 新コスモス電機株式会社  
TCG 高松コンストラクショナル / S Shadow / TAKUMA TOYO TIRES 日本ペイントホールディングス Hankyu THE HILTON PLAZA Phoxter

# 日本センチュリー交響楽団 第270回・第271回定期演奏会

第270回定期演奏会は、九州交響楽団との合同演奏会。

わずか4か月程で書き上げたという、久石マエストロの作品「Metaphysica」で開演、そして圧巻の迫力でお届けする「春の祭典」。ストラヴィンスキーが「バレエ・リュス」(\*)のために作曲したバレエ音楽で、初演時は賛否両論を巻き起こす大騒動となった作品ですが、今や20世紀近代音楽の傑作として高い人気と評価を得ています。

複雑なリズムと革新的な音楽—久石マエストロが繰り広げる壮大な“リズムの祭典”をぜひ会場で体感ください!

シーズン最後の定期演奏会を締めくくるのは、次世代を牽引するマエストロの一人、川瀬賢太郎。これまでもセンチュリーと熱い共演を重ねてきました。今回は、オーストリアとアメリカを繋ぐプログラム、そして2つのワルツを披露します。ヴァイオリンでソロを務めるのは、2019年「エリザベート王妃国際音楽コンクール」2位受賞ほか、国際的な活躍と後進の指導にも力を注ぐティモシー・チューイ。ストラディヴァリウスの豊潤な響きにもご注目ください。(\*)20世紀初頭に興行師・ディアギレフにより創設され、一世を風靡した伝説のバレエ団。



## 指揮：久石 謙 (日本センチュリー交響楽団 首席客演指揮者)

Joe Hisaishi / Conductor

国立音楽大学在学中よりミニマル・ミュージックに興味を持ち、現代音楽の作曲家として出発。1981年「MKWAJU」を発表、翌年に1stアルバム「INFORMATION」を発表し、ソロアーティストとして活動を開始。84年の映画「風の谷のナウシカ」以降、宮崎駿監督作品の音楽を担当するほか、「HANA-BI」「おくりびと」「悪人」「かぐや姫の物語」「家族はつらいよ」など、話題作の映画音楽を多数手掛け、日本アカデミー賞最優秀音楽賞、2009年紫綬褒章受章など数々の賞に輝く。演奏活動においては、04年7月、「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)」の音楽監督に就任。また2017年から「Joe Hisaishi Symphonic Concert: Music from the Studio Ghibli Films of Hayao Miyazaki」の世界ツアーをスタートし、パリ、メルボルン、ロサンゼルス、ニューヨーク、ブラハ等で開催し、大成功を収める。近年は「交響曲第2番」や「Metaphysica (交響曲第3番)」などの作品発表にも意欲的。海外では香港フィル、ロンドン響、メルボルン響、アメリカ響、シンガポール響などの指揮を執る。14年より、世界の最先端の“現代の音楽”を紹介するコンサート・シリーズ「MUSIC FUTURE」を始動。19年7月、新プロジェクトとして「フューチャー・オーケストラ・クラシックス(FOC)」をスタートさせ、同年「久石 謙 ベートーヴェン:交響曲全集」をリリースし、第57回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。国立音楽大学招聘教授。20年9月に新日本フィルハーモニー交響楽団 Composer in Residence & Music Partnerに就任。21年4月から日本センチュリー交響楽団首席客演指揮者に就任。



## 合同演奏：九州交響楽団

The Kyushu Symphony Orchestra / Joint performance

1953年創立。九州の音楽界をリードするプロのオーケストラとして、アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ファミリーコンサートなど、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任。これまでに福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹「波の盆」』が使用された。

## 指揮：川瀬 賢太郎

Kentaro Kawase / Conductor



1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を広く上原一、汐澤安彦、チョン・ミンファンなどの各氏に師事。2006年10月、東京国際音楽コンクール<指揮>において2位(最高位)に受賞。その後、各地のオーケストラから次々に招きを受ける。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任(2022年3月末まで)。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。

海外においてもイールド・フランス国立オーケストラとの共演や、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと共演。オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、「リアの物語」、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」、ヴェルディ作曲「アイダ」などを指揮、目覚ましい活躍を遂げている。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞、第65回横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。2023年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団第6代音楽監督に就任

## ヴァイオリン：ティモシー・チューイ

Timothy Chooi / Violin



情熱的な演奏と幅広いレパートリーで世界的な支持を集めているティモシー・チューイは、カーティス音楽院でアイダ・カヴァリアンとバメラ・フランクに、ジュリアード音楽院のティプロマ・コースでキャサリン・チーに、クロンベルク・アカデミーでクリスティアン・テツラフに師事した。

2018年ハノーファー・ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2019年エリザベート王妃国際音楽コンクール2位受賞の他、マイケル・ヒル国際ヴァイオリン・コンクール(ニュージーランド)、モンテリオール交響楽団のマニユライフ・コンクールなど権威あるコンクールでの受賞歴がある。ヴェルビエ音楽祭で有望な若手演奏家に贈られるPrix Yves Paternotを受賞。近年は、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、モンテリオール交響楽団、ルクセンブルク室内管弦楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、トロント交響楽団等と初共演を行った。2020年、自身が共同設立したアンサンブル「The VISION Collective」が、ハロルドW. マックロウ・ファミリー財団の音楽教育とコミュニティアウトリーチにおけるロバート・シャーマン賞を受賞。オタワ大学音楽学部教授として後進の指導にもあたっている。使用楽器は日本音楽財団保有のストラディヴァリウス1709年製ヴァイオリン「エンゲルマン」。

## 管弦楽：日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。

Japan Century Symphony Orchestra / Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森森親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石謙が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



## チケット取扱い

●各回  
A席 6,500円 / B席 5,000円 / C席 3,500円 / D席 1,500円  
●未就学児入場不可  
●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

チケットお取扱い

○センチュリー・チケットサービス

TEL.06-6848-3311 (平日10:00~18:00)

<https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

日本センチュリー 検索



○ザ・シンフォニーチケットセンター TEL.06-6453-2333 (11:00~16:00火曜休)

○チケットぴあ <http://t.pia.jp/> Pコード: 208-084 (#270) / 208-085 (#271)

○e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

○ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード: 55893 (#270) / 55894 (#271)

## シンフォニー定期演奏会場 送迎バス運行中!

●区間:大阪駅~ザ・シンフォニーホール間の送迎 ●運行回数:開演前と終演後 各2便ずつ ●乗車運賃:一回100円 \*定期会員様は無料でご利用いただけます。(U-35席除く)